

令和3年度全国学力・学習状況調査概要

角田市教育委員会

令和3年9月16日

1 実施日

令和3年5月18日（木）

2 対象児童・生徒

小学6年 児童 受験者数 224名

中学3年 生徒 受験者数 228名

3 調査内容

（1）学力調査

①小学生 国語 算数

②中学生 国語 数学

（2）児童、生徒質問紙

（3）学校質問紙

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果について

角田市教育委員会

1 調査結果一覧

- ※ <別紙1>「全国学力・学習状況調査：年度別推移（平成29～令和3年度）」参照
※令和2年度は実施していない

2 教科に関する調査の結果

○小学校国語の平均正答率については、宮城県平均を2ポイント上回り、全国平均とは同等の結果となった。算数の平均正答率は、県平均と同等ではあったが、全国平均にはやや及ばなかった。

（参考）正答率 ※正答率は全国のみ小数第1位まで公表

	角田市	宮城県	全 国
国語	6.5	6.3	6.4.7
算数	6.8	6.8	7.0.2

※仙台市を除く宮城県平均 国語6.2 算数6.6

○県・全国平均を同等または上回った設問

- ☆国語・・・文の中で漢字を使う。（つみかさなつて＝積み）（+5.4P）
- ☆国語・・・自分の考えを発表するという資料で、「すぐに」という文面がさすことばを適切に選択している。（+5P）
- ☆算数・・・平行四辺形の面積の求め方として、公式を使って正確に解答している。
 5×12 とし、60 と解答している。（+4.0）
- ☆算数・・・道のりを求める式や言葉を使って説明する。（+5.5P）

○全国平均を下回った設問

- ★国語・・・スピーチをするという題材で、話の構成の説明を適切に選択する。（-5.6P）
- ★国語・・・文の中で漢字を使う（げんいん＝原因）が書けていない。（-5.4P）
- ★算数・・・直角三角形の面積を求める問題で公式を活用して解答できなかった。
 $3 \times 4 \div 2 = 5$ （-6.9P）また、その応用問題も（-7.3P）
- ★算数・・・8人に4Lのジュースを等しく分けるときの一人分のジュースの量も求める式と答えを書く。 $4 \div 8$ 、0.5 や $1/2$ 、と答える問題（-4.3P）

○中学校の平均正答率については、国語、数学、ともに県・全国平均に及ばなかった。

小6の時点との比較においては、数学において差が広がった。

（参考）正答率 ※正答率は全国のみ小数第1位まで公表

	角田市	宮城県	全 国
国語	5.8	6.5	6.4.6
数学	4.5	5.5	5.7.2

※仙台市を除く宮城県平均 国語6.3 数学5.2

○県・全国平均と同等または上回った設問

- ☆国語・・・文章問題の設問で、生徒の発言として説明している文章を適切に選択している。
（ほぼ同等）
- ☆国語・・・意見文の下書きを読み、直した意図として適切なものを選択している。
（ほぼ同等）

☆数学・・・与えられた表やグラフから、砂の重さが7.5 gだった時に、砂が落ちるまでの時間が36.0秒であったことを表す点を求める。(ほぼ同等)

○県・全国平均を下回った設問

★国語・・・話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ。(14.2P)

★国語・・・「行く」を適切な敬語に書き直し、その敬語の種類として適切なものを選択する。
「行く」を伺う、または参ると書いて、謙譲語と選択する。(15.3P)

★数学・・・文章問題を読みとり、一元一次方程式で表す。(20.4P)

★数学・・・複雑な図形から、錯角が等しくなる根拠について記号を用いて表す(20.0P)

※数学の問題で、文章問題が多く、「無回答」が多かった。

3 児童生徒質問紙調査の結果

※＜別紙2＞「令和3年度 児童生徒質問紙調査結果のポイント」参照

○基本的な生活についての質問

全国と比較して、「毎日同じくらいの時刻に起きる」と回答した小学生の割合がやや低い。また、「朝食を毎日食べる」「毎日同じくらいの時刻に寝る」と回答した割合は全国平均と同等であった。特に「朝食をまったく食べない」と回答している児童の割合が3.5%であり、全国平均の2.2%よりも高かった。

今回の調査で「朝食を毎日食べる」習慣の定着が不十分であることがうかがえた。また、「毎日同じくらいの時間に寝る」と回答した児童とそうでない児童との間にも、各教科の正答率に明確な差が認められた。食生活や、睡眠時間の適切な確保が必要だと考えられる。

○家庭での学習習慣

「家で自分で計画を立てて勉強を行っている」と回答した児童生徒の割合は全国を上回った。小学生の平日の家庭学習時間は全国よりやや低く、中学生は大きく下回った。

読書に関する設問では、小学生が30分以上の読書を行っている割合は全国よりも低い傾向が確認された。中学生では、全国平均をやや上回り望ましい傾向が見られた。

今回から家庭でのスマートフォンやコンピュータの使い方についての設問が設けられた。情報端末使用時の約束や使用時間についての課題が見られた。

今回も「家庭での予習や復習を行っている」と回答した児童生徒ほど正答率が高く、家庭での予習・復習と正答率に高い相関が見られた。学校と家庭が連携して、家庭学習の充実を図っていく必要がある。

○学習に関する取組

算数の文章で解答する問題に対して、書くのをあきらめた割合は昨年度より少なくなった小学生の、国語と算数の授業がよく分かるという設問は、全国を上回った。中学生では、国語はやや上回ったが、数学では、大きく下回った。また、英語の授業における、自分自身の考えや気持ちを伝える学習では、小学生がやや上回り、中学生では課題が見られた。

課題解決に向けて自分で考え自分で取り組むという、学びの姿勢は小学生においては意欲的であり、中学生ではやや課題となっている。今後も「対話的な学び」を進めていきたい。

○その他

「自分にはよいところがある」と考えている割合が低く、小学生では6ポイント、中学生では18ポイントと全国水準を大きく下回った。この項目は以前からも低い傾向にあり、学校・家庭で、児童・生徒のよさを見つけ認め励ましたり、役割を与えその成功体験を増やしたりするなど、今後「自己肯定感・自尊感情」を高める指導・取組が一層求められる。

昨年度からの新型コロナウイルス感染症に係る、各種行事の中止により、「地域の行事に参加する機会」が少なくなかったが、「地域や社会をよくするために何をすべきか考える」と回答した児童生徒の割合は以前に比べ増加した。

「全国学力・学習状況調査：年度別推移」

角田市立小学校(6年生)														
教科	国語A		国語B		国語		算数A		算数B		算数		理科	
	H29	H30	H29	H30	H31	R3	H29	H30	H29	H30	H31	R3	H27	H30
年度														
全国平均正答率	74.8	70.7	57.5	54.7	63.8	64.7	78.6	63.5	45.9	51.5	66.6	70.2	60.8	60.3
宮城県平均正答率	74	69	56	53.0	62	63	77.0	62	44.0	49	65	68	59.6	59.0
宮城県平均正答率 (仙台市を除く)	73	67	54	52	61	62	76	60	42	47	64	66		57
角田市平均正答率	71	66	50	48	63	65	75	56	39	43	62	68	55.8	57
全国平均との比較	▼3.8	▼4.7	▼7.5	▼6.7	▼0.8	0.3	▼3.6	▼7.5	▼6.9	▼8.5	▼4.6	▼2.2	▼5.0	▼3.3
県平均との比較	▼3.0	▼3.0	▼6.0	▼5.0	1.0	2.0	▼2.0	▼6.0	▼5.0	▼6.0	▼3.0	同じ	▼3.8	▼2.0

角田市立中学校(3年生)														
教科	国語A		国語B		国語		数学A		数学B		数学		理科	
年度	H29	H30	H29	H30	H31	R3	H29	H30	H29	H30	H31	R3	H27	H30
全国平均正答率	77.4	76.1	72.2	61.2	72.8	64.6	64.0	66.1	48.1	46.9	59.8	57.2	53.0	66.1
宮城県平均正答率	77	77	73.0	62	74	65	63	65	47	47	58	55	53.7	67
宮城県平均正答率 (仙台市を除く)	74	75	70	59	71	63	59	61	44	43	55	52		64
角田市平均正答率	74	72	69.0	57.0	64	58	59.0	61	44	43	47	45	48.8	64
全国平均との比較	▼3.4	▼4.1	▼3.2	▼4.2	▼8.8	▼6.6	▼5.0	▼5.1	▼4.1	▼3.9	▼12.8	▼12.2	▼4.2	▼2.1
県平均との比較	▼3.0	▼5.0	▼4.0	▼5.0	▼10.0	▼7.0	▼4.0	▼4.0	▼3.0	▼4.0	▼11.0	▼10.0	▼4.9	▼3.0
														▼6.0

〈別紙2〉

令和3年度 児童・生徒質問紙調査結果のポイント

角田市教育委員会

1 基本的な生活習慣について

	質問項目	小学校6年生(%)			中学校3年生(%)		
		角田市	県	全国	角田市	県	全国
1	朝食を毎日食べる	95.1 (0.2)	95.8	94.9	91.7 (▼1.1)	94.0	92.8
2	毎日、同じくらいの時刻に起きる	87.9 (▼2.5)	90.8	90.4	93.1 (0.4)	94.1	92.7
3	毎日、同じくらいの時刻に寝る	81.7 (0.5)	83.1	81.2	80.0 (0.2)	83.6	79.8
4	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていた	59.4 (▼3.7)	61.2	63.1	48.9 (0.5)	48.1	48.4

☆朝食を毎日「全く食べない」小学生の割合 角田市 3.5% 全国は 2.2%

2 家庭での学習等

	質問項目	小学校6年生(%)			中学校3年生(%)		
		角田市	県	全国	角田市	県	全国
1	家で自分で計画を立てて勉強する	76.4 (2.4)	75.3	74.0	66.9 (3.4)	68.5	63.5
2	学校の授業以外に普段（月曜日から金曜日）、1日当たり1時間（中3は2時間）以上勉強する。 （学習塾で勉強している時間や家庭教師の教わる時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	58.4 (▼4.1)	62.0	62.5	20.1 (▼21.7)	35.7	41.8
3	普段（月曜日から金曜日まで）30分以上読書をしている（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）	30.9 (▼6.5)	36.1	37.4	29.8 (0.9)	29.5	28.9
4	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている	62.5 (▼7.6)	69.0	70.1	71.6 (3.7)	71.0	67.9

3 学習に関する関心・意欲・態度

	質問項目	小学校6年生(%)			中学校3年生(%)		
		角田市	県	全国	角田市	県	全国
1	国語の授業内容がよく分かる	90.2 (6.0)	86.0	84.2	81.7 (1.6)	80.9	80.1
2	国語の授業では、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係が分かるように（中学生は根拠を明確にして）書いたり表現を工夫して書いたりしている	68.3 (▼3.3)	72.8	71.6	71.2 (▼3.4)	78.3	74.6

3	算数・数学の授業内容がよく分かる	88.8 (4.8)	83.4	84.0	66.0 (▼8.6)	74.3	74.6
4	算数・数学の問題の解き方が分からないとき、あきらめずにいろいろな方法を考える	80.0 (▼2.7)	81.7	82.7	66.9 (▼8.9)	75.7	75.8
5	今までに受けた英語の授業では、英語で(中学生は話したり書いたりして)自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができた	76.8 (2.2)	73.8	74.6	59.8 (▼7.9)	69.0	67.7
6	課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	81.2 (3.0)	79.9	78.2	79.0 (▼2.0)	82.8	81.0
7	学級の友達と話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考えを受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていた	89.7 (7.1)	83.1	82.6	80.4 (▼3.3)	86.7	83.7

4 自尊感情・自己肯定感

	質問項目	小学校6年生(%)			中学校3年生(%)		
		角田市	県	全国	角田市	県	全国
1	自分には、よいところがあると思う	70.5 (▼6.4)	75.6	76.9	58.1 (▼18.1)	75.7	76.2
2	将来の夢や目標を持っている	79.4 (▼0.9)	80.0	80.3	59.4 (▼9.2)	69.6	68.6
3	人の役に立つ人間になりたいと思う	96.4 (0.9)	95.6	95.5	96.1 (1.1)	94.9	95.0
4	人が困っている時は、進んで助ける	89.7 (1.0)	87.0	88.7	87.3 (▼1.2)	88.7	88.5
5	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	98.2 (1.4)	96.3	96.8	93.4 (▼2.5)	96.0	95.9

5 社会への関心

	質問項目	小学校6年生(%)			中学校3年生(%)		
		角田市	県	全国	角田市	県	全国
1	今住んでいる地域の行事に参加している	58.4 (0.3)	62.0	58.1	43.6 (▼0.1)	45.3	43.7
2	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある	49.5 (▼2.9)	53.8	52.4	42.0 (▼1.8)	46.6	43.8

[表の見方]

*数字は「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した児童生徒の割合。

*かっこ内は、全国平均との比較(単位はポイント) ▼はマイナス

=== 角田市教育委員会の取組 ===

1. 角田市学力向上推進委員会を組織し、小・中が連携して取り組む児童生徒の資質・能力育成の方策を検討・実践・改善します。

学校と教育委員会の担当で組織する「角田市学力向上推進委員会」で、児童・生徒の実態等についての情報交換を行い、具体的な学力向上に向けた方策を検討します。また、中学校区ごとの9年間を見通した取組について協議し、小・中の連携を図ります。

令和3年度から3年間は、宮城県教育委員会指定事業「共に学ぶ教育推進モデル事業」を受け、それに伴う研修会や研究授業を実施し、市内教職員の授業づくり研修会等を実施しています。

2. 角田市独自の学力テストを実施します。

小学1年生から中学2年生までを対象にした、標準学力調査を毎年12月に実施しています。その結果を各学校が学年、教科ごとに分析し、成果と課題を明らかにした上で、対策（授業改善等）を講じます。また、受験した児童・生徒には個票が配付されるので、自身の学習状況を把握することができます。

3. 大学等と連携し、校内研修の講師を派遣する等の支援を行います。

本市及び本教育委員会は、平成24年2月に、宮城教育大学と連携協力に関する覚書を締結しています（令和3年度は、市内8小中学校が宮城教育大学から校内研修の講師を招聘。他の2校は、他の大学からの講師派遣で研修を実施する予定としています。）このように大学等から外部の専門家を招聘し、専門的かつ先進的な指導を受けながら実践的な授業研究を行うことによって、授業改善や指導力の向上を図ります。

4. GIGA スクール構想を生かして子どもたち一人ひとりに個別最適化され創造性を育む教育 ICT 機器の導入・整備など、教育環境の充実に努めます。

令和3年度より、児童生徒一人ひとりに、タブレット端末を配布し、ICT 機器を活用した授業を展開するとともに、個別の学びの支援を行い、学びの質を向上させます。今後は、授業だけでなく、家庭学習等に活用できるよう取り組んでいきます。

5. 学校図書館支援員、特別支援教育支援員等を配置し、学校及び児童生徒をサポートします。

図書館支援員の配置（令和3年度は2名）により、学校図書館利用の促進や学校図書館の整備に努め、読書に親しむ環境を整えます。また、児童・生徒一人ひとりのニーズに合った教育活動の支援のために、各学校に特別支援教育支援員を配置（令和3年度は22名）し、個に応じた指導の充実に努めます。

6. 積極的に情報を公表し、学校・家庭・地域の連携を図ります。

生活習慣や学習習慣等の課題について、学校・家庭・地域が情報を共有し、連携しながら改善に向かうことができるように、必要な情報を積極的に公表します。

7. 適応指導教室を設置し、様々な「学び」の形を支援します。

平成30年6月より、適応指導教室（名称：Coco はうすかくた）を開設し、子どものニーズに合ったサポートを行い、児童・生徒の学びを支援しています。